



びわ湖と
ともに、

えらばれる 観光地 大津へ

大津市第2期観光交流基本計画

平成29年3月

大津市
第2期観光交流
基本計画
目次

あいさつ	3
1.はじめに	4
①計画の目的	4
②計画の位置付け	5
③計画の対象期間	5
2.現状と課題	6
①日本および大津市の観光を取り巻く環境	6
②大津市の持つ7つの強み	8
③大津市の観光地としての課題	10
3.目指す姿	16
4.数値目標 (KPI)	20
5.基本方針	22
6.計画推進体制	24
①進捗管理 (PDCAサイクル)	24
②情報共有	25
③取り組みの手順	25
7.巻末資料	26
①実施調査一覧	26
②委員名簿	27
③会議実施記録	27

あいさつ

「えらばれる観光地、世界から人が集うまちへ」

現在日本では、人口減少や少子高齢化に伴う消費活動の低迷を打破すべく、国を挙げて「観光立国」を目指し、観光庁を中心に訪日外国人を誘客するための様々な政策を行っております。

一方で大津市でも、平成21年3月に観光交流基本計画(第1期)を掲げ、「交流が喜びを生むまち」を目指して観光施策に取り組み、また平成27年を「インバウンド元年」と位置付け、台湾をターゲットとしたトップセールスやホームページ、パンフレットの外国語対応など、観光事業者の方々とともに訪日外国人の誘客に積極的に取り組んでおります。結果として平成27年は過去最高の外国人宿泊客数を記録し、4年前と比較して4倍近くにまで増加しており、全国の他市に比べても高い水準で伸びております。

こうした環境の中、大津の一番の魅力であるオンリーワンのびわ湖や、山や川など豊かな自然、世界遺産や日本遺産をはじめとした深い歴史や文化、温泉やアクティビティなど、大津にしかない様々な魅力をさらに活用して、大津を「えらばれる観光地」、「世界から人が集うまち」にしたいと考え、本計画を策定いたしました。

今後、観光産業が盛り上がり、地域が活性化するとともに、市民の皆様にとっても、来訪者との交流を通じて今よりも更に大津を好きになり、大津を誇りに思えるような取り組みを行って参ります。

結びに、大津市第2期観光交流基本計画策定に関する懇話会の委員の皆様をはじめ、計画策定の際にアドバイスを頂戴した関係者の皆様、パブリックコメントに貴重なご意見やご提案をお寄せくださいました皆様に心から御礼を申し上げます。



平成29年3月
大津市長
越 直美